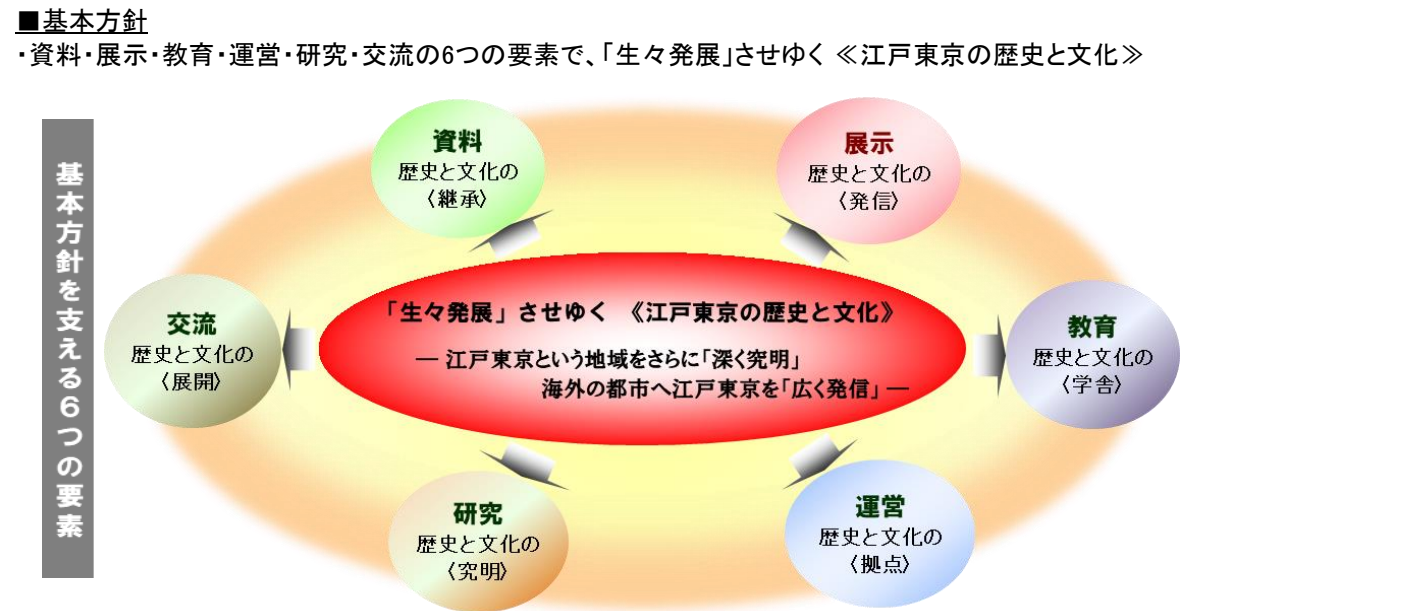


【東京都江戸東京博物館（分館：江戸東京たてもの園）】 指定管理者提案書類（事業計画書） 概要

1. 管理運営の基本方針



■館の機能の総合的な発揮

・博物館としての総合力を十二分に発揮

〈人〉 マネージメント能力の豊富な管理職、専門性を具現化できる学芸員等を適材適所に配置

〈もの〉 61万点の江戸博コレクションと30棟の復元建造物を活用、海外の都市博物館に向けた「展覧会」の実施

〈場〉 常設展、多彩な特別展、タイムリーな企画展といった「場」において事業を展開

■「『未来の東京』戦略ビジョン」

戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略 アートショーケースTOKYOプロジェクト

アートがまちの至る所に溢れる都市の実現

・都立文化施設が中心となって都内の様々な地域を繋げ、海外から訪れる観光客にも魅力ある、多様な芸術が溢れる都市の実現に向けた事業を展開

誰もが、いつでも、どこでも、芸術文化を楽しめる環境を整備

・多様な対象に向けた教育普及事業を実施

・5Gを活用したタブレット等の端末向けの配信、博物館に足を運べない人々も含め、誰でもが文化芸術を受容できる取り組みを実施

才能のあるアーティストの発掘・育成、文化の担い手の裾野を広げる

・長年培った様々な団体とのネットワークを活用し、さらなる国際的な活躍と創出への取組。

東京の社会課題の解決に貢献

・「創造発信の拠点」であると同時に、「人材育成・教育普及と社会包摂の拠点」として、博物館におけるリーディングケースとなるような取り組みを充実させ、貢献。

■国内外の施設等との連携の取組（ネットワーク化の推進）

海外	北京、瀋陽、ソウルの博物館との国際シンポジウム、学芸員の相互派遣、欧米美術館・博物館との交流展覧会、国際博物館会議（ICOM）への参画	地域	両国・深川：近隣施設とネットワーク形成、「両国協力会」において地域の街づくりに貢献 多摩：多摩地域の活性化、回遊性を高める取組を推進
国内	全国歴史民俗系博物館協議会（加盟約800館）の事務局館として、全国の博物館の相互連携を推進	財団内	「東京都コレクション」を活用した展覧会、分野を横断する芸術文化の発信に貢献
都内	東京都博物館協議会に参画		

2. 事業に関する業務

■資料の収集

・厳選した収集によりコレクションのさらなる充実を図る

・都民の財産として大切に保管し、積極的に活用

■資料の分類整理、記録及び保管

〈本館〉資料を適切に保管、分類整理・記録し、都民共有の文化遺産として後世に継承

〈分館〉野外収蔵建造物を保存しつつ多くの来園者に体感してもらうため、適切に記録、保全、補修等を実施

■資料等に関する情報提供

・インターネットで資料公開：江戸東京文化の価値を広く発信

・図書室：江戸東京の専門図書館であり、総合窓口

・映像ライブラリー・小ホール：映像により都民の学習を支援

■調査研究

・都市歴史研究室：国内外の文化施設、大学、企業等と連携し調査研究・教育普及・研修を実施

・成果の還元：常設展、特別展、教育普及事業、出版物等

■展覧会 ・江戸東京の歴史と文化を都民や世界へ発信

①常設展：実物資料や精巧な複製・模型。ICTを活用した多言語解説を整備

②特別展：「3T戦略」時宜にかなない（Timeliness）、対象を明確にした（Target）、目玉資料のある（Top of sales point）展示

③〈分館〉野外建造物、情景再現、参加体験型の展示や催事

■教育普及活動

・誰もが楽しく学べるよう対象を細かく設定。なかでも子供・高齢者・外国人・障害者を対象としたプログラムの開発と促進

■その他の事業

・講演会、季節感の演出、地域や国内外の博物館との交流、施設活用（写真・映像撮影）、伝統文化の継承及び発信等大規模改修工事の実施と休館中の事業展開（移動博物館、高齢者施設へのアウトリーチ等）

■人材の育成

・学芸員実習、インターン、中学生の職場体験、ボランティア育成、都職員の研修、国内外の博物館との人事交流等

■館の事業を支える仕組み

○広報：〈本館〉東京を代表する博物館として幅広くアピール
〈分館〉野外博物館の魅力の発信、地域密着の広報

○友の会：会員を本館・分館のファンの中核と位置づけ、相互に協力しながら来館者層の確保・拡大を図る

○ボランティア：多様な館運営を目指し生涯学習の場を提供

○外部意見等：専門家や一般来館者の意見を取り入れ反映

○ニーズの把握：顧客満足度調査・非利用者調査の実施

○外部資金の導入：協賛金の獲得、企業との連携、旅行代理店と協力し団体客誘致、撮影等への施設活用を推進

3. 館の運営に関する業務

■休館日及び開館時間

・混雑時等は柔軟に対応

・イベント等にに合わせて臨時開館・夜間開館を実施

■館内サービス

・学校団体や年配者等の利用者目線に立ったサービス

・近隣の観光・交通案内まで多様な案内サービスも実施

・来館者の満足度アップのため、多言語対応、電子マネー対応、福祉車両のアクセス確保、救護室の充実等へ取り組む

・思い出づくりに貢献するショップ・レストラン・カフェの運営

・お客様からの意見・苦情への迅速な対応

■施設及び付帯設備貸出し

〈本館〉ホール、会議室、学習室の積極的な貸出し

〈分館〉「東京ロケーションボックス」に協力し撮影場所として提供

4. 組織及び人材

・学問的専門性や運営上必要な知識と多くの実務経験を有する職員を適材適所に配置

・館の使命を自覚し、江戸東京の歴史と文化を発信できる職員を育成。各種研修により事務処理能力、専門能力、経営感覚の向上を図る

5. 館の管理その他に関する業務

■館の管理

○施設等の管理業務：幅広い年齢層の施設利用者に快適性・安全性・利便性を確保する維持管理

○危機管理：災害対応力を備え、来館者・職員の生命及び後世に継承させていくべき文化資源を守る

・お客様の安全確保：危機管理マニュアルに基づく対応、感染症の拡大防止についても適切に実施

・展示品・収蔵品：安全な展示・収蔵、保全対策

・大規模災害発生時：帰宅困難者の一時滞在施設の役割を適切に果たす

■地域等との連携の取組

〈本館〉・両国協力会の一員として地域の活性化や文化的魅力の発信、観光に貢献

・地域産業振興に資する広報PR、区や近隣施設と連携し観光客誘致に貢献

〈分館〉・地域や大学と協働し、多摩の魅力向上、若い世代の博物館参加機会の創出、地域文化の伝承、産業振興等に貢献